

別紙1 参考様式

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
阿武町	福賀地区(上笹尾、下笹尾、飯谷、栃原)	平成24年12月	令和4年12月

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	76.0 h a
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	56.7 h a
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	- h a
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	- h a
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	- h a
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.0 h a
(備考)	

2 対象地区の課題

・地区内の農地のうち7割以上を中心経営体の農事組合法人や認定農業者に集積できているが、法人構成員の高齢化が進んでいるため、今後の法人経営を担う人材の確保が必要。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

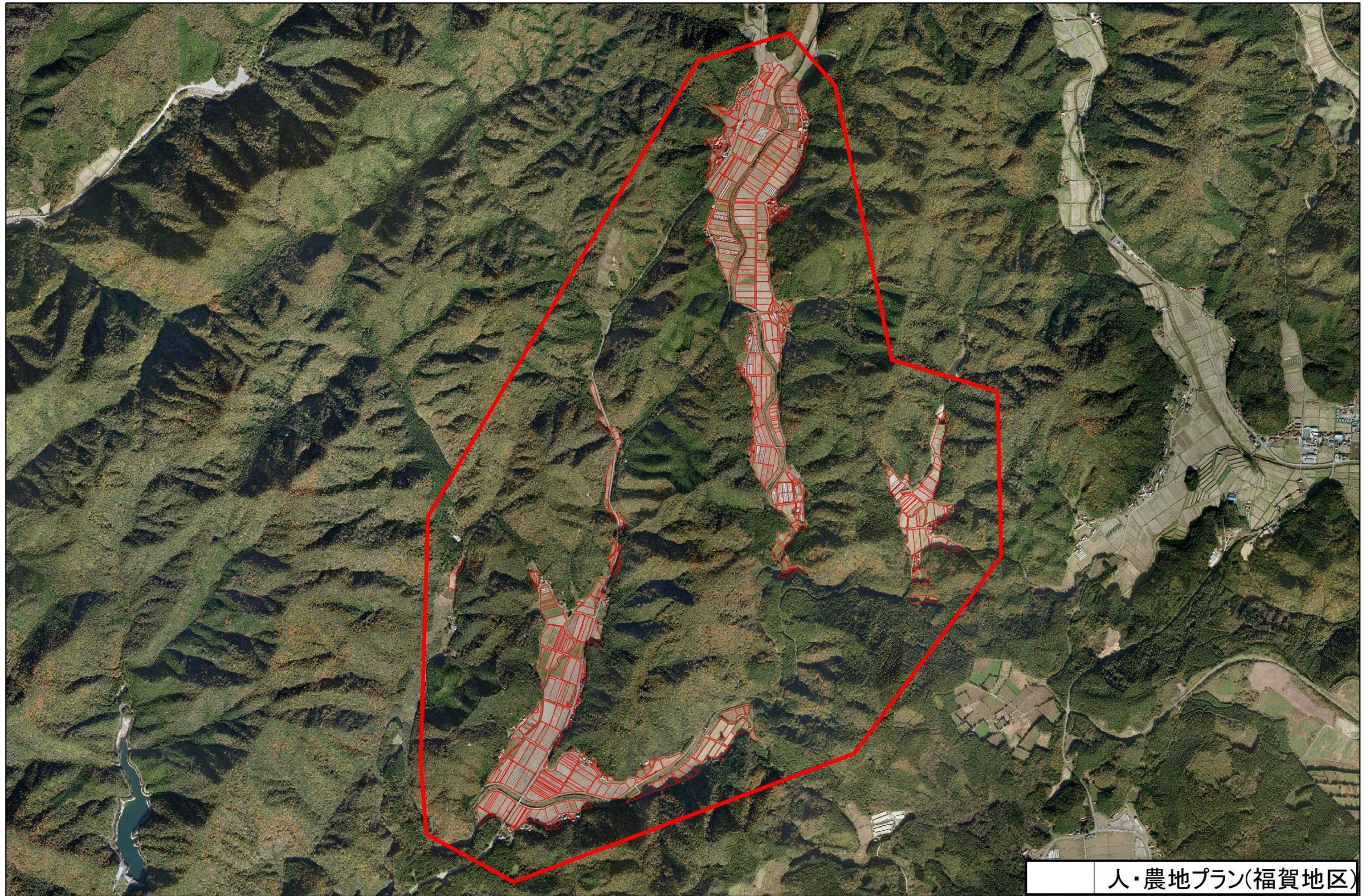
- ・農地中間管理機構を積極的に活用し、農地の集積・集約化を進める。
- ・農地については、今後も中心経営体が担っていく。

(参考) 中心経営体

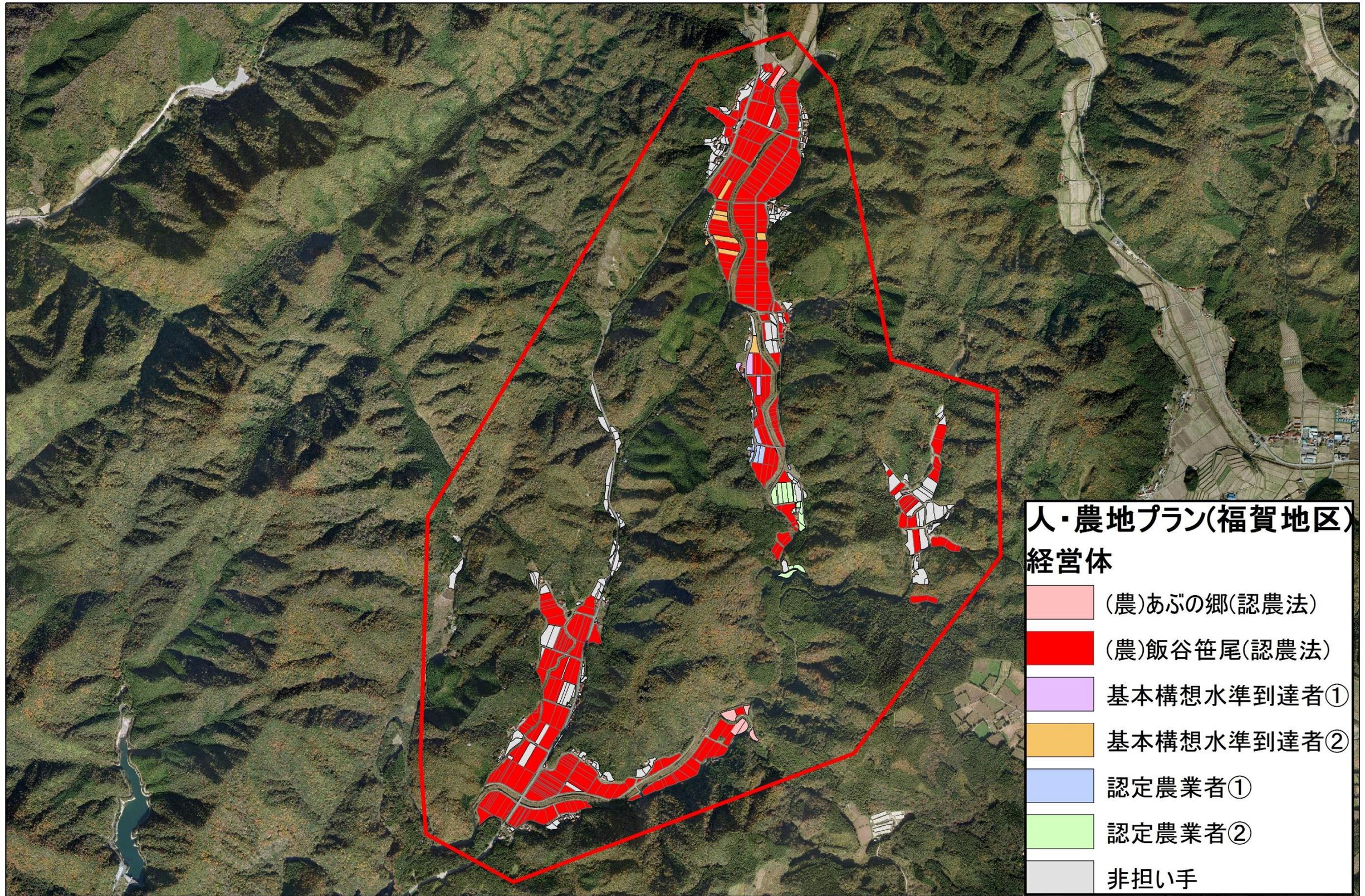
属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農法	(農) あぶの郷	水稲	1.2 ha	水稲	1.2 ha	
認農法	(農) 飯谷笹尾	水稲	55.5 ha	水稲	55.5 ha	
認農	認定農業者①	野菜	0.6 ha	野菜	0.6 ha	
認農	認定農業者②	野菜	1.6 ha	野菜	1.6 ha	
到達	基本構想水準到達者①	野菜	0.6 ha	野菜	0.6 ha	
到達	基本構想水準到達者②	野菜	1.4 ha	野菜	1.4 ha	
計	6人		60.9 ha		60.9 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針 (任意記載事項)

- ・貸付者(出し手)と借受者(借り手)の調整を行い、農地中間管理機構の活用を推進していく。
- ・関係機関と連携を密にし、新規就農者の確保を図る。



1:16,000



1:16,000